

長かったようで短かった4時間の演劇ワークはとても濃密な時間でした。体験してみた後の感想といたしましては、普段の自分ではありえない行動をしたということでしょう。私は自ら進み出ることや声を出し前ではっぴょうすることはあまり得意でなく、好きではありませんでした。しかし、今回の演劇ワークでは、後半やけになったようにはしゃいだ感じでした。印象に残った出来事としては先生の命令と逆の講堂をするゲーム、みんなで音楽を作ったことです。前者の方で特に「立て」「立ってください」という言葉の言い回しだけでいかに印象が変わるかよく分かりました。後者の方ではうまく音楽が作れず、皆苦戦したことだと思います。しかし、あのワークは誰かが皆を導き、それをフォローするという演劇以外にでも応用できる内容でありました。今回の経験から私には「度胸」が大きくなったと感じます。これからは就職活動をし、面接や発表の機会が増えると思いますが、この演劇ワークで出せた声・度胸・自信を持ってこれから先に臨みたいと思います。